

目次

設計図書の出力	2
設計図書のページ追加	5
設計図書のページ削除	6
レイアウト編集	6
設計図書での要素入力	8
線	8
文字	8
引き出し線	9
ハッチング	9
設計図書への取込み	10
図面の取込み (DXF/JWW データ)	10
画像の取込み	11
エクセルデータの取込み	12
図面内容の編集	13
図面内容の編集 (JWW などでの編集)	14
設計図書の印刷	15
DXF/JWW への変換	15
設計図書の保存・閉じる	16
設計図書を開く	17
設計図書の設定	18
画面色の設定	18
ペンの設定	18
図面枠の設定	19
テンプレートの設定	19

設計図書の出力

入力した物件データを図面データとして出力します。

1「出力」から2「設計図書」を選択します。

3「設計図書ファイルの自動生成」画面の「はい」を選択します。

「設計図書出力」画面が開くので、4 出力したい図面にチェックをつけ、5「OK」をクリックします。

+ 補足

「展開図」は各部屋に対し4面出力されます。部屋が多い場合は出力に時間がかかりますので不要な場合はチェックを外してください。

+ 補足

緑枠が立面図でのオプション
青枠が平面図でのオプション
必要に応じてチェックを入れます。

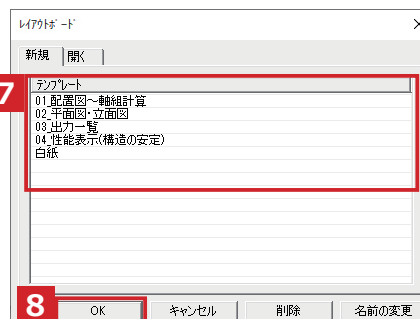
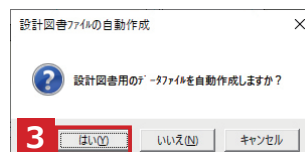
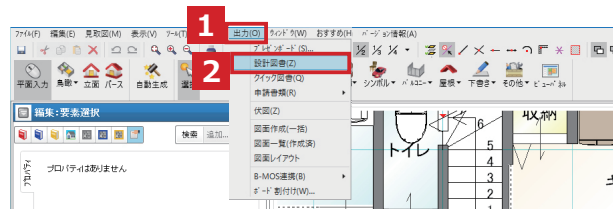
「図面に加筆されたデータが消去されます。よろしいですか？」と問われます。初めて出力する場合や加筆していない場合は6「はい」を選択します。

「レイアウトボード」画面が開き、図面を配置するため用紙(テンプレート)の一覧が表示されます。

7 任意のテンプレートを選択し、8「OK」をクリックします。

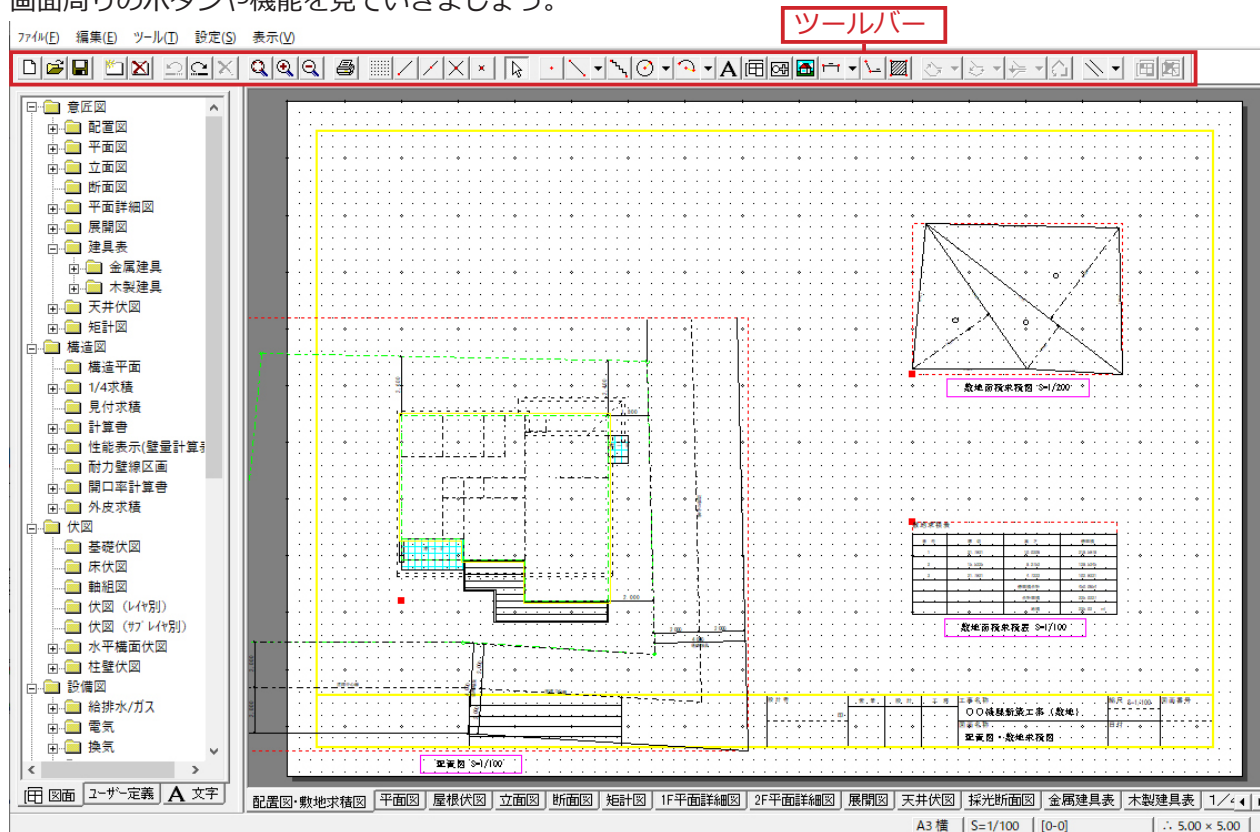
+ 補足

選択したテンプレートによってページ数や図面の配置などが異なります。自社仕様のテンプレートも作成できます。(19 ページ参照)



設計図書画面が開きました。

画面周りのボタンや機能を見ていきましょう。

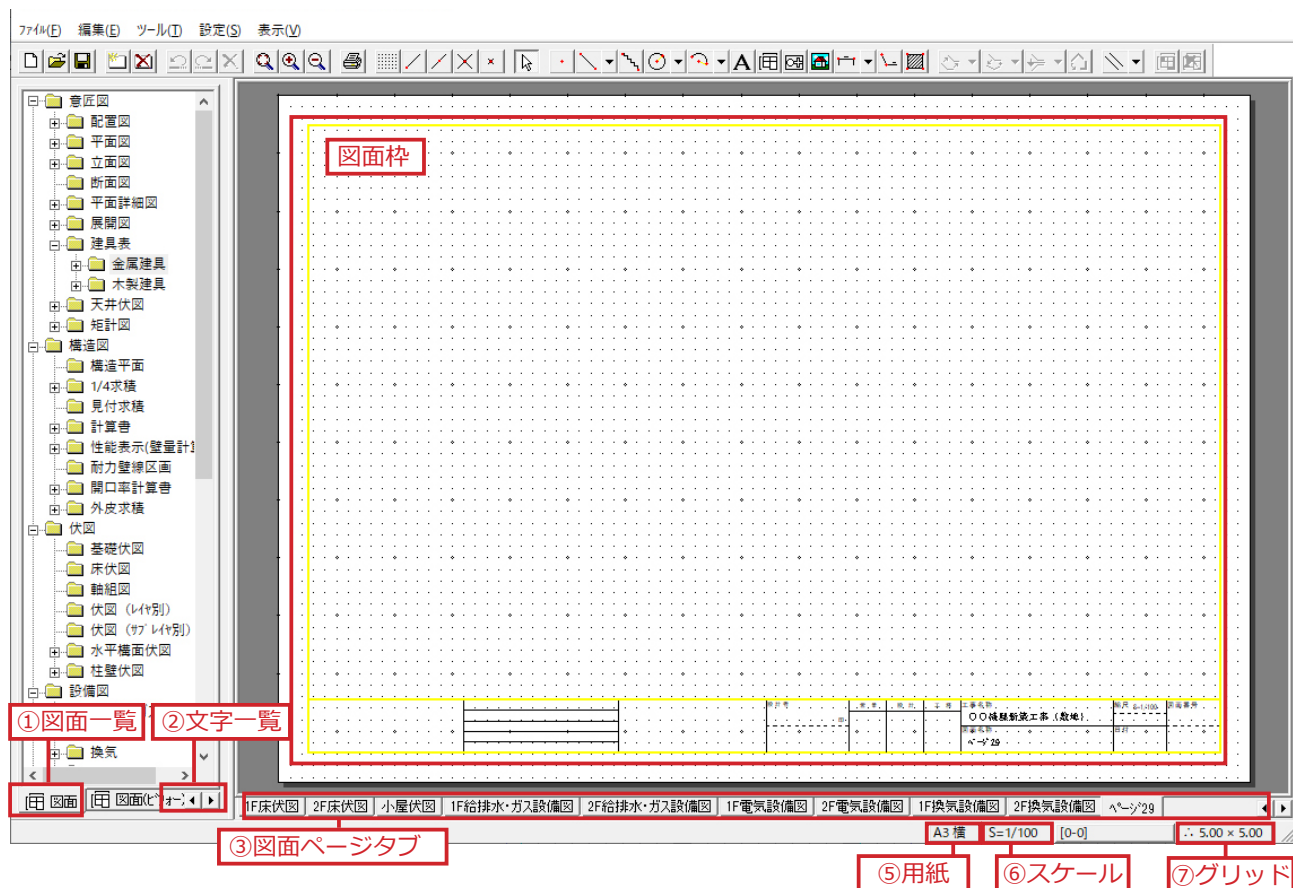


〈ツールバー〉



- | | |
|-----------|------------|
| ①新規作成 | ⑲点入力 |
| ②開く | ⑳線 |
| ③保存 | ㉑ユーザー定義線 |
| ④新規ページ | ㉒円 |
| ⑤ページの削除 | ㉓円弧 |
| ⑥元に戻す | ㉔文字 |
| ⑦やり直し | ㉕図面 |
| ⑧消去 | ㉖シンボル |
| ⑨全体表示 | ㉗画像 |
| ⑩拡大 | ㉘寸法線 |
| ⑪縮小 | ㉙引出線 |
| ⑫印刷 | ㉚ハッチング |
| ⑬グリッド | ㉛移動 (数値指定) |
| ⑭端点 | ㉜回転 (数値指定) |
| ⑮中点 | ㉝反転 |
| ⑯交点 | ㉞回転移動 |
| ⑰点 | ㉟オフセット |
| ⑱オブジェクト選択 | ㊱図面編集 |
| / 解除 | ㊲図面編集解除 |

次に設計図書の入力画面について確認していきましょう。



① 図面一覧：図面の名前をダブルクリックすると、出力した図面表示し配置できます。

「**+**」がついている図面名称が出力されています。

② 文字一覧：よく使う文字や物件の情報とリンクできる文字が格納されています。

③ 図面ページ：図面が配置されているページ（タブ）です。

選択した「テンプレート」によって最初に出てくるページ（タブ）数が異なります。

④ 図面枠：設計図書の画面で編集できない図枠線です。オリジナルの図面枠データ（DXFのみ）も反映できます。（19 ページ参照）

図面枠はページ（タブ）ごとに図枠を設定できます。

⑤ 用紙：開いているページの設定が確認できます。

用紙サイズや図面枠などページごとに確認・変更ができます。

⑥ スケール：開いているページごとにスケール設定ができます。

⑦ グリッド：設計図書全体のグリッド（点）設定ができます。

設計図書のページ追加

テンプレートを選択すれば自動的に図面がレイアウトされていますが、新しくページを作成できます。

新しいページを作成します。

1「編集」から2「新しいページの作成」を選択します。



「新規ページ」でも作成できます。

3 図面名称を入力します。

開いているページと同じ情報のページを作成する場合は4「現在のページをコピーする」にチェックを入れます。

5「OK」をクリックします。

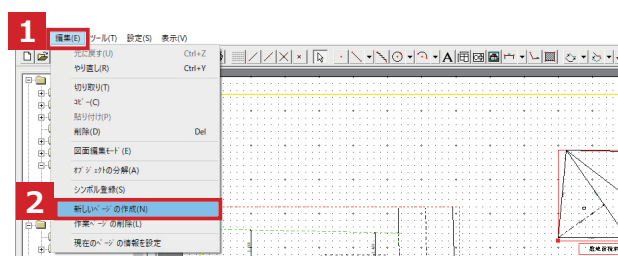


ページによって違う図面枠にしたい場合などは「現在のページをコピーする」のチェックは付けず、図面枠や用紙サイズを個別で設定します。

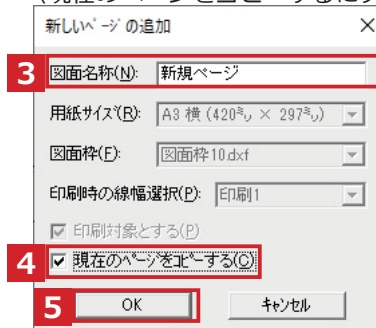
ページが追加されました。

ページは左ドラッグで順番を変更できます。

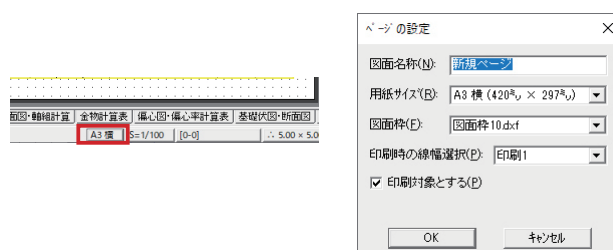
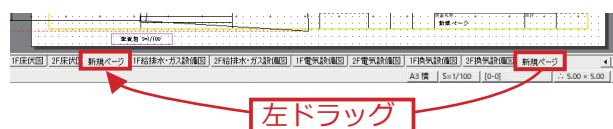
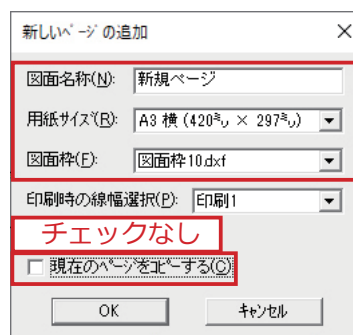
ページ設定は画面下部の「ページ設定」より作成後でも変更できます。



〈現在のページをコピーするにチェックある場合〉



〈現在のページをコピーするにチェックない場合〉



設計図書のページ削除

ページを削除します。

- 1 「消したいページを開きます。
- 2 「編集」から 3 「作業ページの削除」をクリック削除します。
- 4 「OK」をクリックします。

注意

1 度削除したページは元に戻せません。
削除する際は十分に確認してください。

レイアウト編集

配置されている図面の位置を調整したり、新しく図面を配置します。

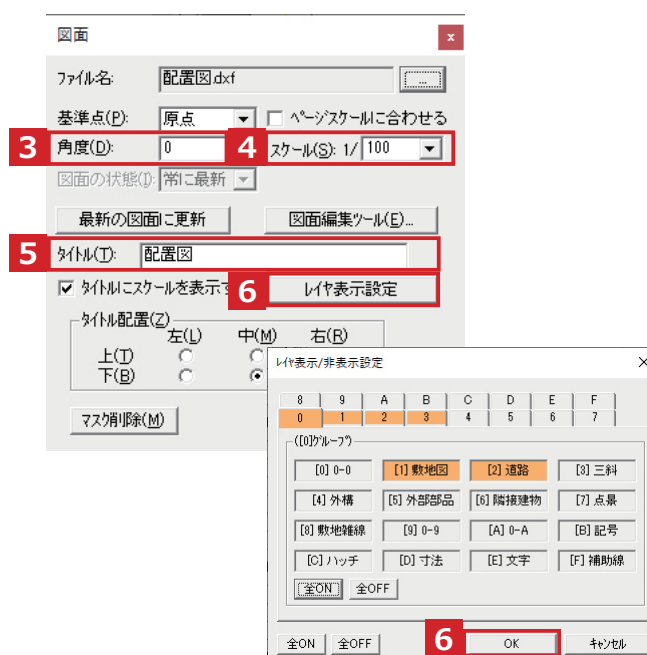
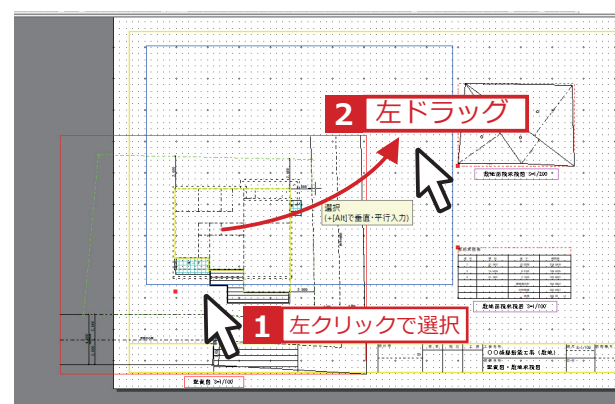
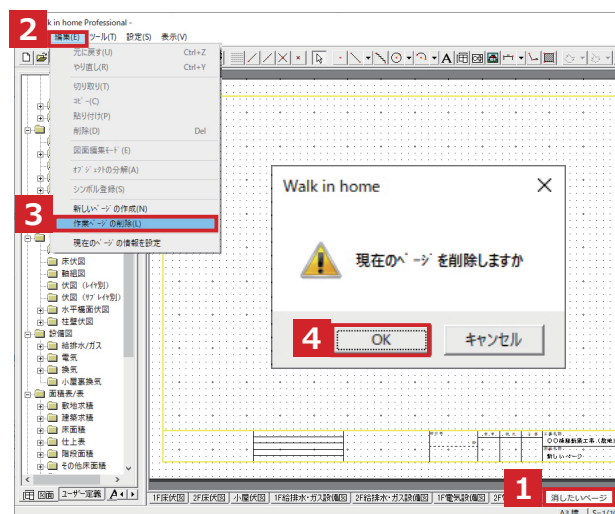
配置された図面を移動する場合は、1 図面をクリックし 2 ドラッグします。

図面画面で 3 「角度」や 4 「スケール」
5 「タイトル」を設定できます。
タイトルが必要ない場合は「タイトル」を空白にします。

6 「レイヤ表示設定」をクリックすると、出力している要素ごとに表示 / 非表示できます。

非表示にしたい項目をクリックし、7 「OK」をクリックします。

ここで非表示にしておけば、印刷した際にも表示されません。



新しく図面を配置します。

1「図面一覧」から配置したい図面を選択します。

任意の場所で 2 クリックし配置します。

3「グリッドボタン」を押むと、ページ内のグリッド(点)をスナップして配置できます。

グリッドの間隔を設定する場合は、画面右下の 4 グリッド設定ボタンをクリックします。

5「幅」「高さ」を変更し、6「OK」をクリックします。

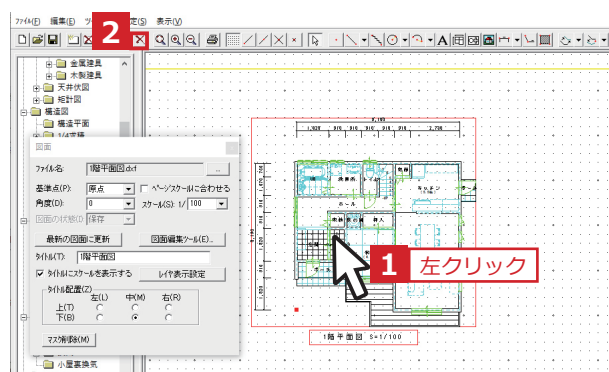
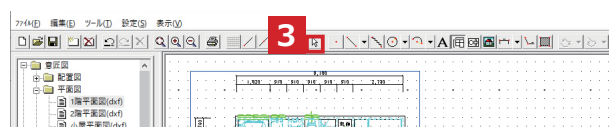
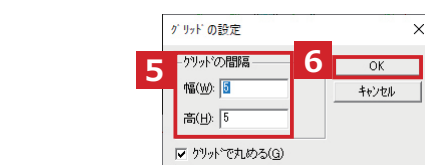
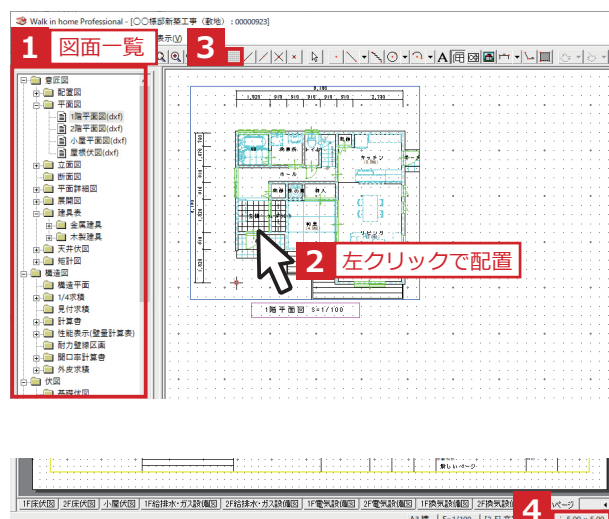
配置後 7「選択」をクリックし、入力モードを解除します。

図面を消去するときは、1 図面を選択します。

2「消去」または「Delete」をクリックして削除します。

注意

「ページの削除」と「削除」はアイコンが似ているので削除するときにはご注意ください。



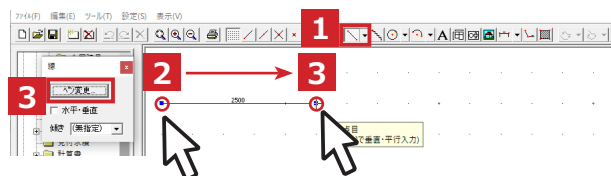
設計図書での要素入力

設計図書画面で線や文字を入力できます。
代表的な入力要素を紹介していきます。
入力は1 ツールバーのアイコンを選択し入力します。

■線

1「線」をクリックし任意の場所に入力します。(2,3)

「線」画面の4「ペンの変更」をクリックすると、線の色や線種を変更できます。



■文字

文字を入力する時は1「文字」をクリックします。

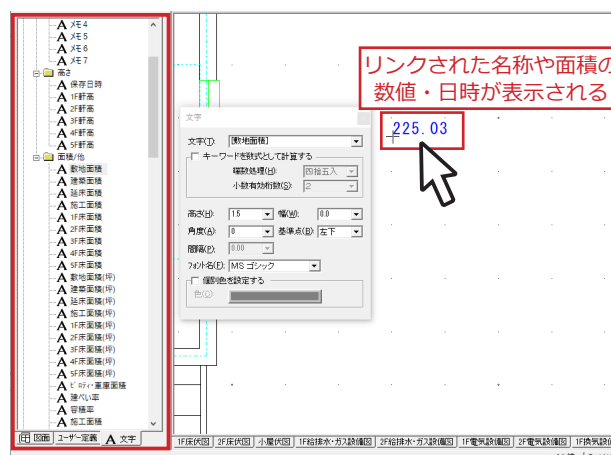
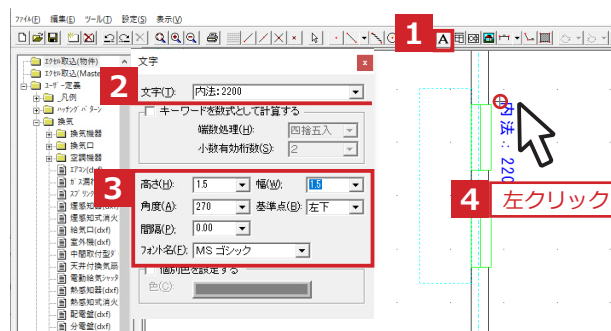
2「文字欄」に任意の文字を入力します。

必要があれば、3「フォント」や「文字の大きさ」「角度」も設定します。

4 クリックし配置します。

配置した文字を選択すれば、配置後も変更できます。

画面左下の「文字」から任意の項目を選択すると、物件名称や日時等・面積などリンク付けされた文字を配置できます。

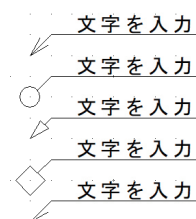
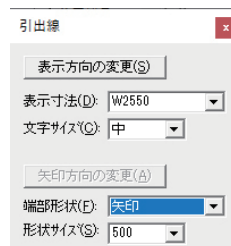
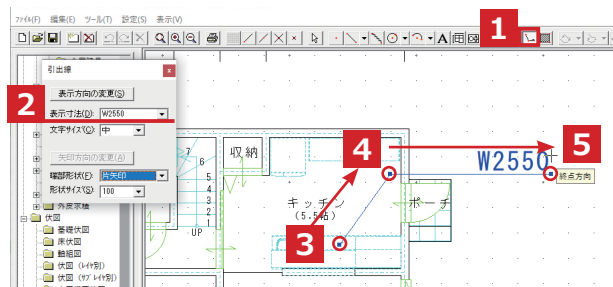


■引き出し線

1「引き出し線」をクリックし、「引出線」画面の2「表示寸法」に文字を入力します。

任意の場所に入力します（3,4,5）

「引出線」画面で、端部形状や文字の大きさも設定できます。

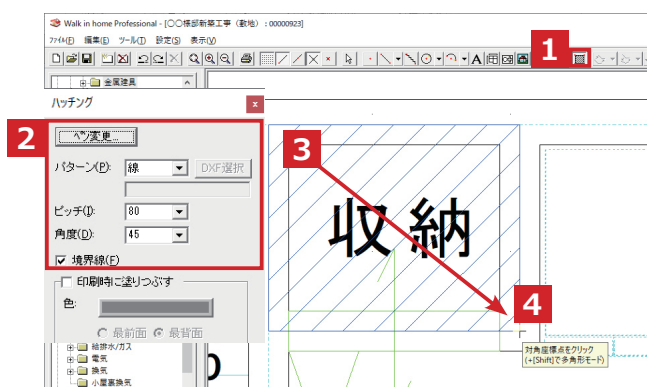


■ハッチング

1「ハッチング」を選択します。「ハッチング」画面で2「ピッチ」や「角度」などを設定します。

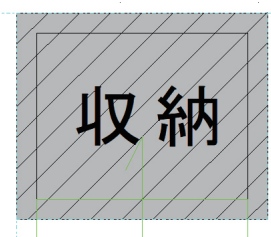
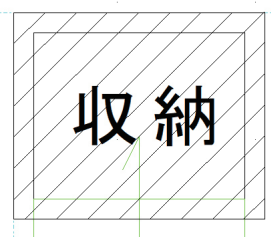
任意の場所に入力します（3,4）

印刷時塗りつぶしたい場合は「印刷時塗りつぶし」にチェックを入れ、任意の色を選択します。



印刷時塗つぶし
〈チェックなし〉

印刷時塗つぶし
〈チェックあり〉



+ 補足

図面の端が取れない場合は「端点」「交点」を押込んでおくとグリッドに乗っていない線の端もとれ、入力しやすくなります。

設計図書への取込み

設計図書に凡例の図面データやロゴの画像データなどを取り込みます。

■ 図面の取込み

設備業者や設計者から受け取った DXF/JWW の図面データを配置します。

1 「図面」 をクリックします。

「図面」画面の 2 「…」 をクリックし、3 取込みたい図面を選択します。

+ 補足

選択できるデータは「DXF」「JWW」です。選択画面から拡張子を選択してください。

4 「開く」を選択します。

5 任意の場所にクリックし配置します。

配置したら 6 「選択」 をクリックし入力モードを解除します。

タイトルやスケールは設計図書で出力した図面と同様に設定できます。

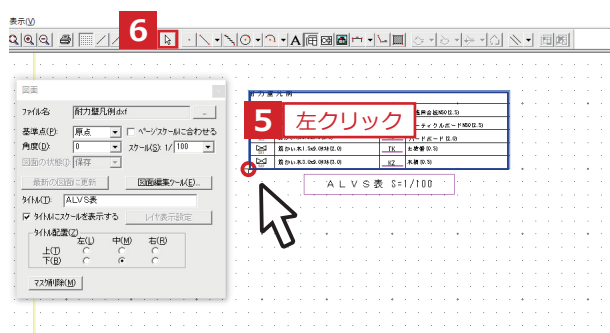
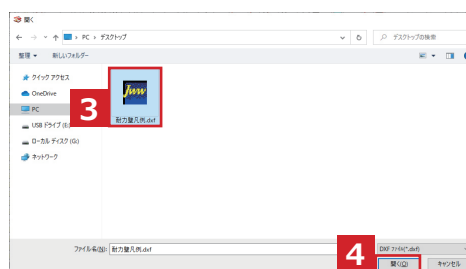
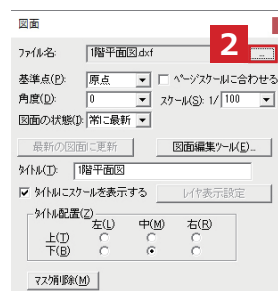
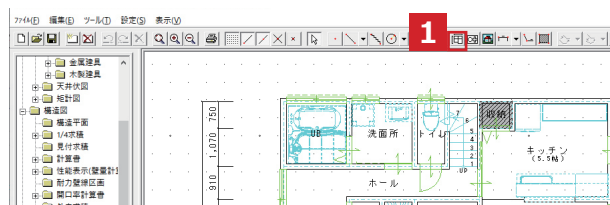
+ 補足

予め JW など汎用 CAD で不要なデータは削除し取込みを行ってください。



〈取込みたいデータ〉

耐力壁1 5x9 0(1 0)	KG	構造用合板N50(2 5)
耐力壁3 0x9 0(1 5)	FB	パーティクルボードN50(2 5)
耐力壁4 5x9 0(2 0)	HB	ハードボード(2 0)
耐力壁1 5x9 0(2 0)	TK	土壁(0 5)
耐力壁3 0x9 0(3 0)	KZ	木樑(0 5)



■画像の取込み

設計図書に付近見取図やロゴ画像といった「JPEG」や「BMP」の画像データを取込みます。

1「画像」をクリックします。

2「画像」画面の「>>」から3「画像フォルダ」を選択します。

配置したい画像を選択して4「開く」をクリックします。

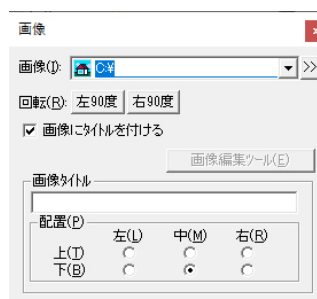
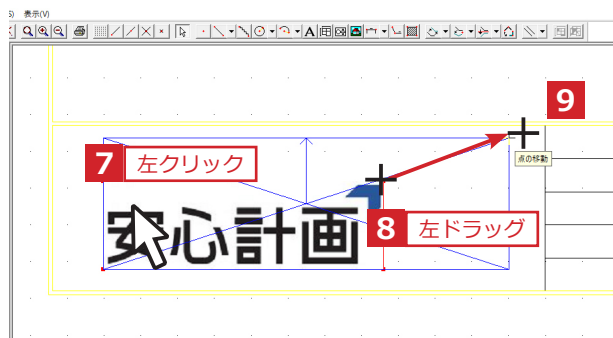
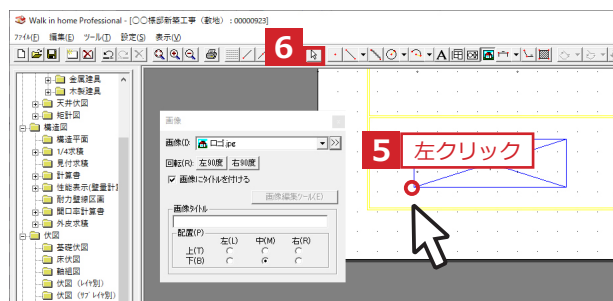
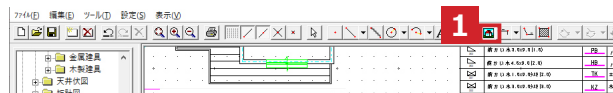
5 任意の場所にクリックし配置します。

配置し、6「選択」をクリックし入力モードを解除します。

画像の大きさを変更する場合は、7 配置した画像をクリックします。

画像の角にマウスを合わせ「+」の形になったら左ドラッグします。(8,9)

また、「画像」画面で画像の向きやタイトルも変更できます。



■エクセルデータの取込み

エクセルデータの表として取り込みます。
ただし、取込まれたデータは図面データとして DXF・JWW に変換されるため、色やフォント情報は引継がれません

エクセルでの作業

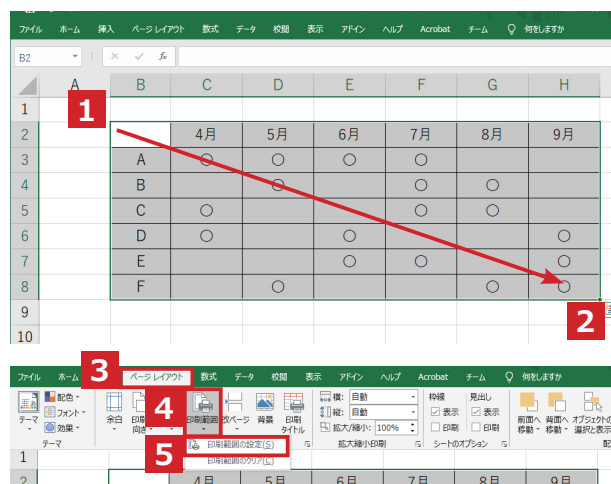
エクセルを開き、取込みたい部分を左ドラッグで選択します。(1,2)

3「ページレイアウト」を選択します。

4「印刷範囲」から 5「印刷範囲の設定」をクリックします。

複数シートがある場合はすべて設定してください。エクセルは保存し閉じます。

〈エクセル画面〉



設計図書での作業

1「ファイル」の 2「Excel⇒図面フォイル変換」を選択します。

3「個別変換」に変更し、4「…」をクリックします。

5 取込みたいエクセルを選択し、6「開く」をクリックします。

7「変換」を選択します。

変換が終了すると画面が消えます。

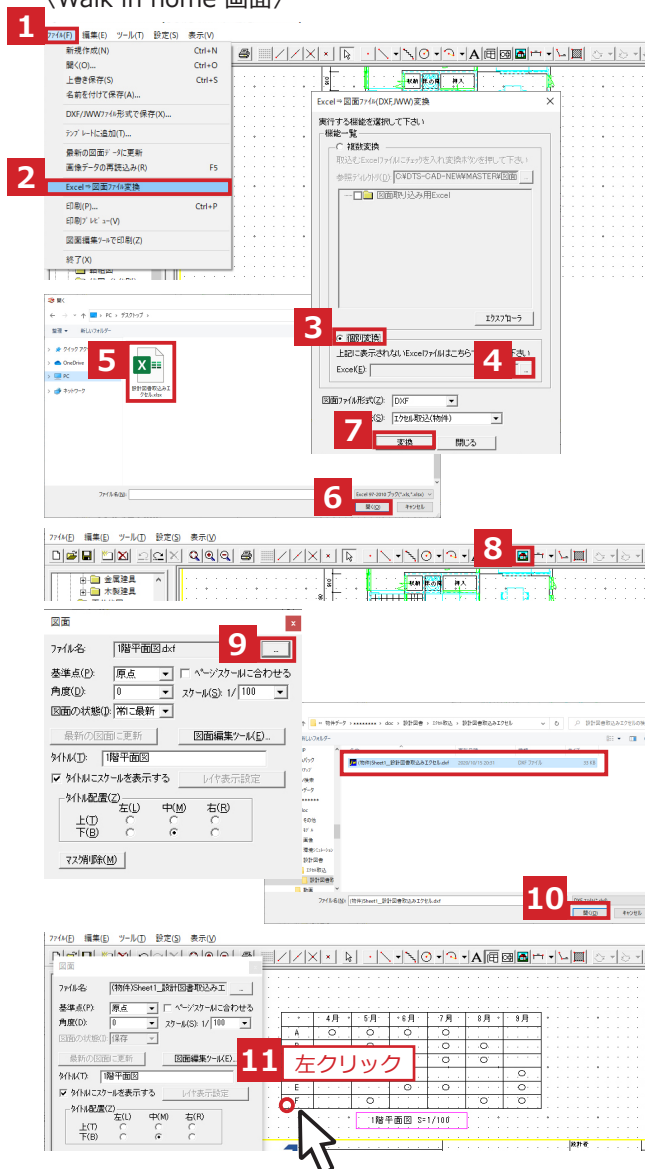
8「図面」をクリックします。

「図面」画面の 9「…」をクリックし、取込みたい図面を選択します。

10「開く」をクリックします。

11 任意の場所に配置します。

〈Walk in home 画面〉



図面内容の編集

出力した図面データの内容を変更します。

1 変更したい図面データを選択します。

2 「図面編集モード」  をクリックします。

線や文字などを個別で選択でき、位置調整や削除ができます。

また新しく文字や線を図面に加筆することもできます。

⚠ 注意

文字や線などをコピーする場合は、
「**Ctrl**」を押しながら、任意の要素を
ドラッグしてください。

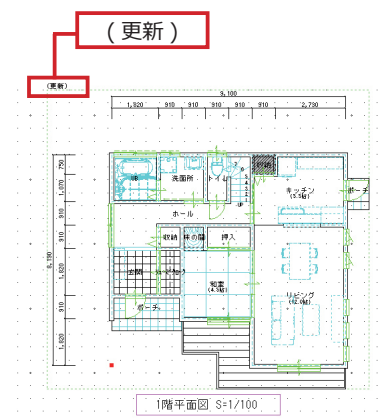
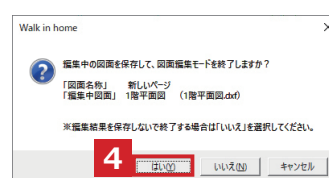
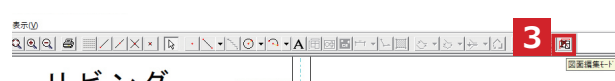
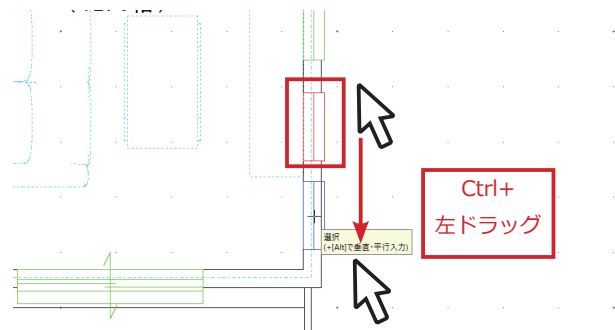
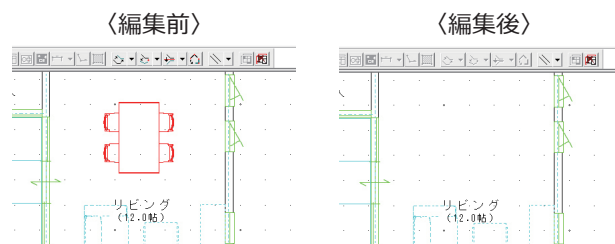
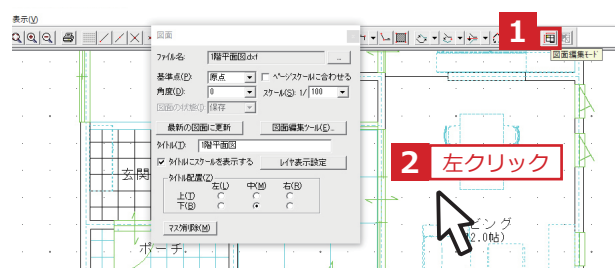
編集が終われば、3 「図面編集モード終了」  をクリックします。

編集結果を図面に反映させたい場合 4 「はい」
を選択します。

⚠ 注意

再度設計図書で図面を出力した場合、図
面編集で変更した内容は残りませんので
ご注意ください。

図面編集を行った図面には(更新)というマーク
がつきます。



図面内容の編集(JWW などでの編集)

JWW などの CAD を使用している人は外部 CAD を使用し、図面を編集できます。

編集ツールの設定を行います。

1「設定」から 2「図面編集ツールの設定」を選択します。

3「下記のアプリケーションで図面を編集する」にチェックを入れ、4「…」をクリックします。

5JWW などの外部 CAD を選択し、6「開く」を選択します。

7「OK」をクリックします。

以上で設定は終了です。

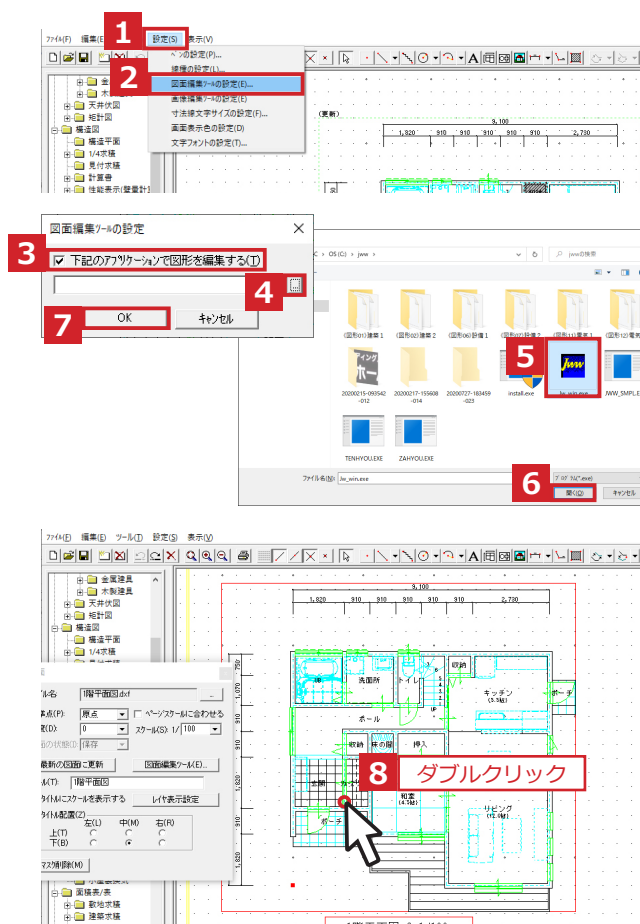
設定後、8 編集したい図面をダブルクリックします。

外部 CAD で図面が開きました。

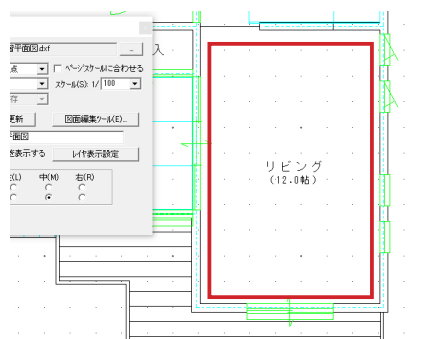
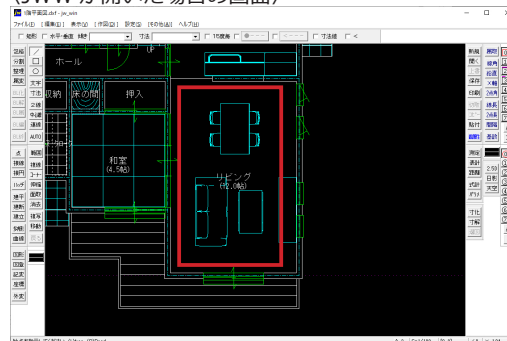
編集を行います。

編集が終われば、上書き保存で閉じます。

編集が反映されました。



〈JWW が開いた場合の画面〉



設計図書の印刷

レイアウト編集や図面編集が終わったら、印刷します。

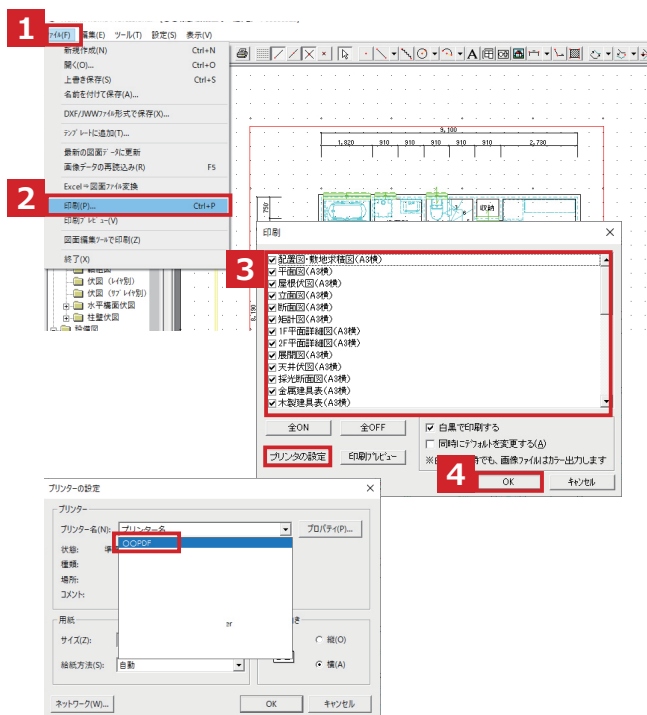
1「ファイル」から2「印刷」を選択します。

3 印刷したいページにチェックを入れ、

4「OK」をクリックします。

+ 補足

「プリンタの設定」をクリックすると、印刷するプリンターを設定できます。プリンタ名を PDF 変換を選択すれば、PDF 変換もできます。



DXF/JWW への変換

1「ファイル」から2「DXF/JWW ファイルで形式で保存する」を選択します。

3 変換したい図面をクリックします。

複数ある場合は「Ctrl」を押しながら、選択してください。

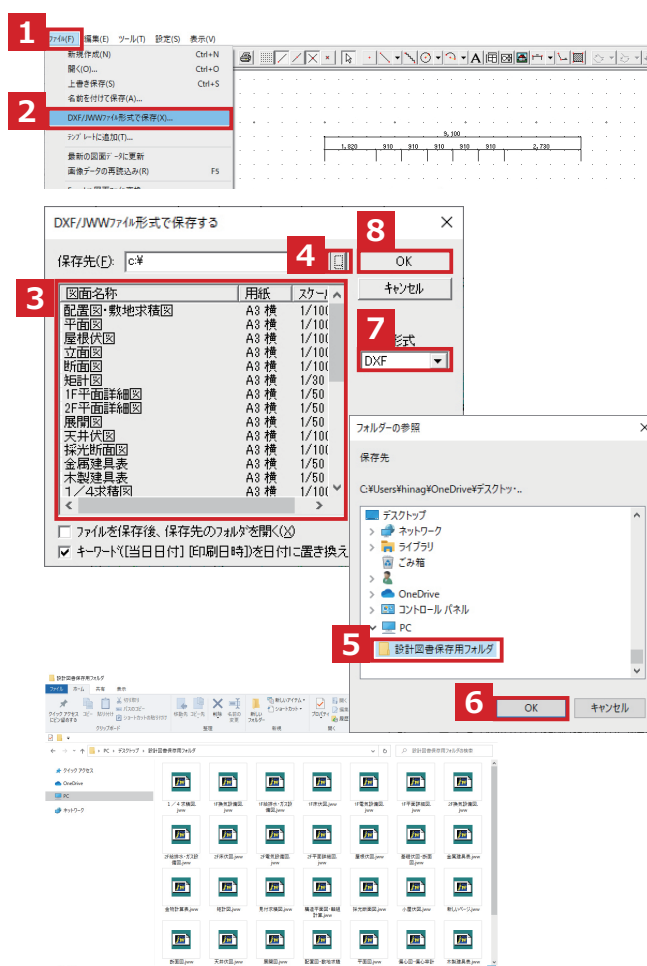
保存先の4「…」をクリックし、5 保存する場所を選択し6「OK」をクリックします。

+ 補足

保存先にページ数のデータができるため、保存用のフォルダを作成することをおすすめします。

7「ファイル形式」を選択し、8「OK」をクリックします。

データができました。



設計図書の保存・閉じる

設計図書での編集が終わったら保存します。

1「ファイル」から2「名前を付けて保存」を選択します。

+ 補足

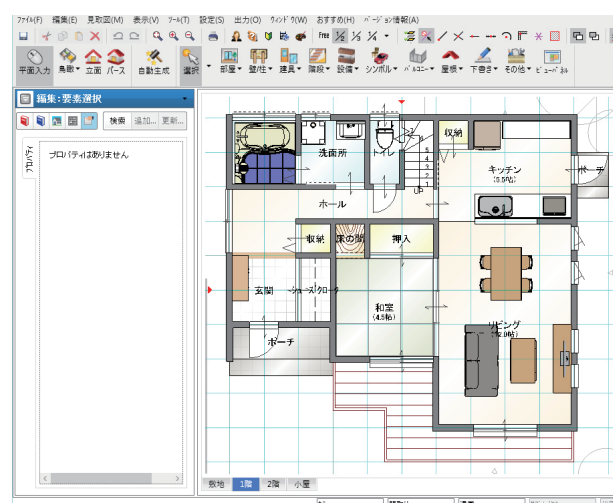
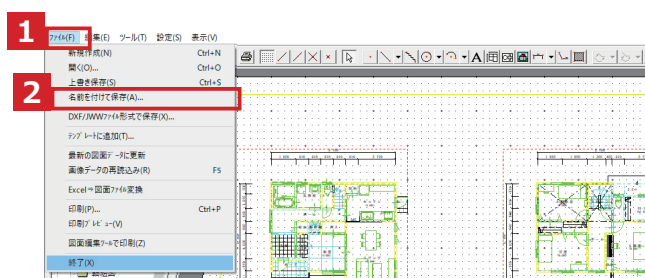
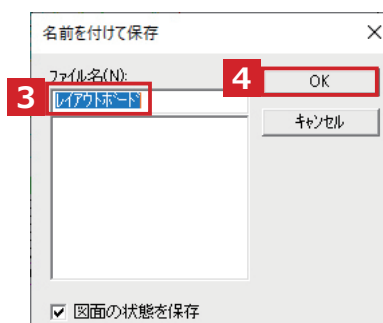
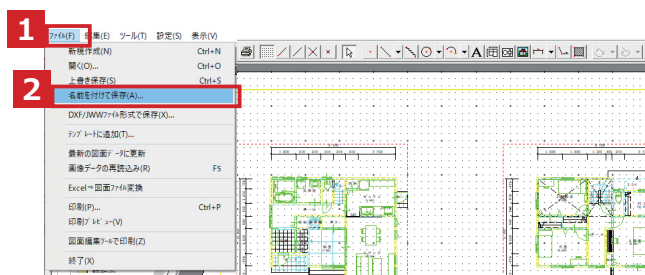
2回目以降は前のデータも残したい場合は「名前を付けて保存」を選択します。

3「ファイル名」に任意の名前を入力し、
4「OK」をクリックします。

設計図の編集が終わったら、設計図書画面を閉じ入力画面へ戻ります。

1「ファイル」から2「終了」を選択します。

入力画面に戻りました。



設計図書を開く

再度設計図書を開く場合、図面を再出力するかで手順が違います。

■図面を再出力しない場合

1「出力」から2「設計図書」を選択します。

「設計図書ファイルの自動作成」画面で3「いいえ」を選択します。

4「開く」タブを選択し、5 保存したデータ名を選択し、5「OK」をクリックします。

設計図書画面が開きました。

■図面を再出力する場合

1「出力」から2「設計図書」を選択します。

「設計図書ファイルの自動作成」画面で3「はい」を選択します。

4 再出力したい図面にチェックを付け、

5「OK」をクリックします。

6「開く」タブを選択し、7 保存したデータ名を選択し、8「OK」をクリックします。

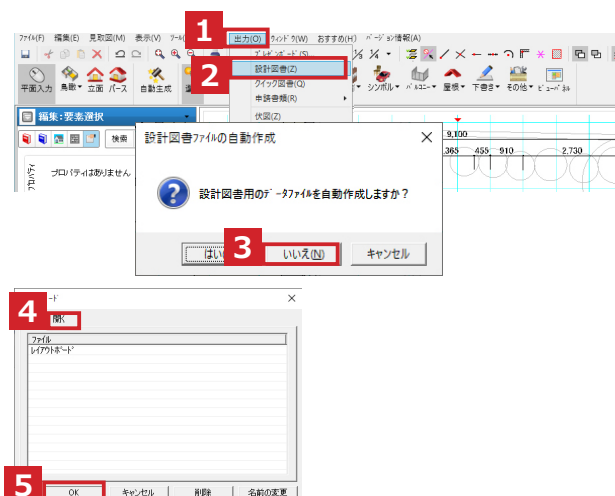
設計図書画面が開きました。

9「ファイル」から10「最新の図面データに更新」を選択します。

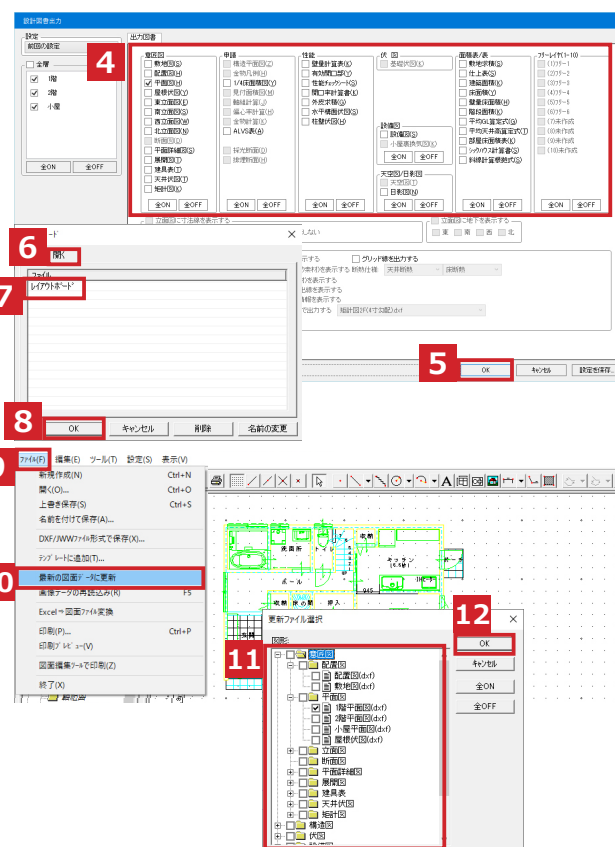
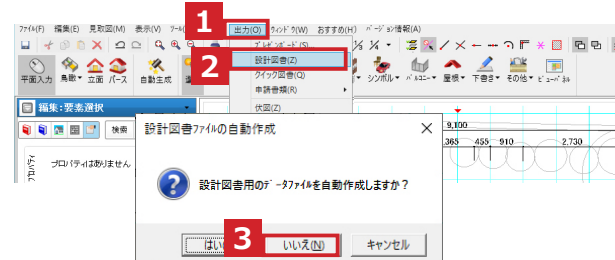
11 再出力した図面にチェックを付け、

12「OK」をクリックします。

〈図面を再出力しない場合〉



〈図面を再出力しない場合〉



設計図書の設定

ここからは設計図書の設定について細かく確認していきましょう。

■画面色の設定

1「設定」の2「画面表示色の設定」を選択します。画面色を変更できます。

■ペンの設定

設計図書の線色を設定できます。

1「設定」から2「ペンの設定」を選択します。

この画面ではペンの色だけでなく、線幅・点半径も変更できます。

3 変更したいペンの色をクリックし 4 任意の色を選択し、5「OK」をクリックします。

+ 補足

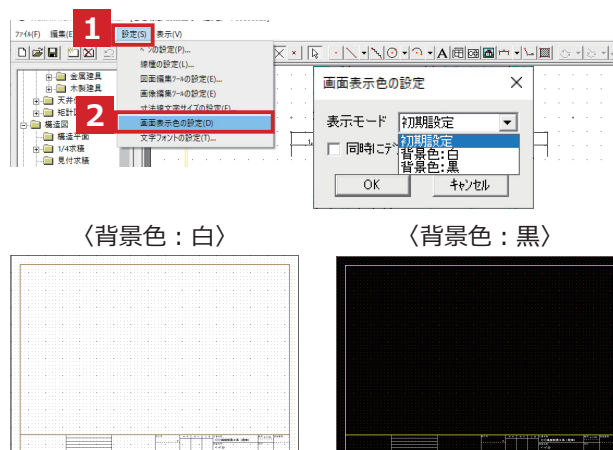
「画面」「印刷 1」「印刷 2」と3つ設定があります。

- ・「画面」は設計図書上での線色
- ・「印刷 1」「印刷 2」印刷した線色

印刷時、「印刷 1」「印刷 2」どちらの設定で印刷するかページの設定より選択できます。

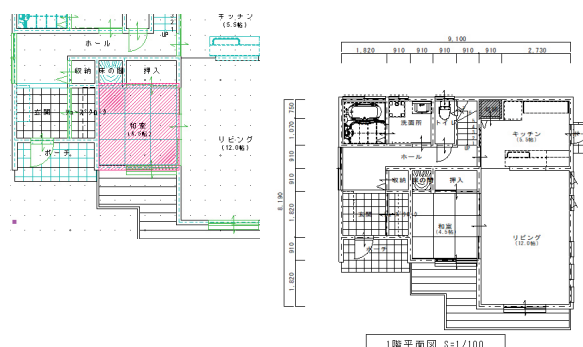
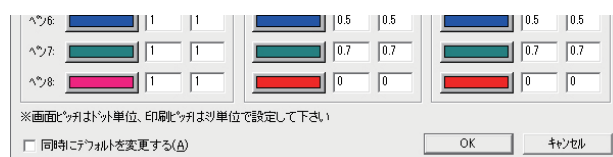
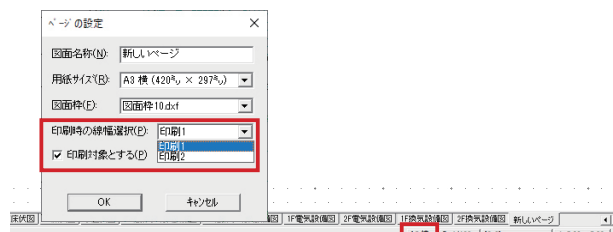
+ 補足

「印刷 1」「印刷 2」で線幅を「0」の場合設計図書上表示されているが、印刷時には表示されない線です。



〈背景色：白〉

〈背景色：黒〉



■図面枠の設定

オリジナルの図面を Walk in home でも使用できます。

あらかじめ JWW などの汎用 CAD で図面枠のデータを作成しておく必要があります。

1 「C:\¥DTS-CAD-NEW¥MASTER¥レイアウト¥図面枠 ¥A3 横」を開きます。

2 用紙サイズのフォルダを開き、図面枠のデータを入れます。

使用できる図面枠のデータは DXF のみです。

3 「ページ設定」の 4 「図面枠」欄より追加した図面枠を選択できます。

■テンプレートの設定

作成した設計図書のレイアウトや図面枠の設定をテンプレートとして登録できます。

1 「ファイル」から 2 「テンプレートに追加」を選択します。

3 「テンプレート名」に任意の名前を入力し、4 「OK」をクリックします。

次回作成時より、レイアウトボード選択画面から作成したテンプレートを選択できます。

+ 補足

作成したテンプレートを他のパソコンでも使用する場合は、
「C:\¥DTS-CAD-NEW¥MASTER¥レイアウト¥テンプレート」のデータを他のパソコンの同じ場所にコピーしてください。

